製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

JUNSEI

1, 化学物質等及び会社情報

会社名　純正化学株式会社
本社住所　〒103-0023　東京都中央区日本橋本町 4-4-16
電話番号　03-3270-5426　FAX 番号　03-3270-5418
担当部門　試薬部　担当者　菅野英奇
住所　〒343-0844　埼玉県越谷市大間野町１-6
緊急連絡電話番号　0489-86-6161　FAX 番号　0489-89-2787
作成日　2000 年 11 月 10 日
整理番号　80010
製品名　よう化亜鉛　Zinc iodide

2, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 単一製品
化学名: よう化亜鉛
化学式: I_2Zn
CAS No: 10139-47-6
含有量: 99%
化審法: 1-749
安衛法: 公表

3, 危険有害性の要約

分類の名称
1. 急性毒性物質。
有害性
1. 体内への吸入、吸収、皮膚粘膜への接触は有害である。
2. 大量を摂取すると、頭痛、呼吸困難、吐き気等の症状を起こす。
環境影響
1. 水質汚濁防止法で環境保全物質に指定されている。

4, 応急措置

吸入した場合
1. 粉末を吸入した場合は、多量の水又は温湯でうがいをする。
眼に入った場合
1. 直ちに清浄な水で 15 分間以上洗浄する
2. 直ちに医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合
1. 直ちに大量の水で洗い流してから石けんで皮膚を洗浄する。
飲み込んだ場合
1. 茶匙 1 杯の食塩を溶かした微温湯をコップ 1 杯飲ませて吐かせる。
2. 直ちに医師の手当を受ける。

5, 火災時の措置

消火方法

1. 周辺火災の場合速やかに容器を安全な場所に移動する。
2. 移動可能な場所は、容器及び周辺に散水して冷却する。

消火剤

1. 大量の水。

6, 漏出時の措置

1. 漏洩物は掃き集めて密閉容器にできるだけ回収し、その後多量の水で洗い流す。
2. 洗浄の際に濃厚な液が河川や土壌に流出しないように十分注意する。

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

1. 酸化性の雰囲気、湿気により分解してよう素を遊離するので注意する。
2. 取扱後に十分に洗浄する。

保管

1. 湿気を避け、密封する。
2. 冷暗所に保管。

8, 暴露防止及び保護措置

管理濃度：設定されていない

許容濃度

ACGIH (93 年～94 年)：設定されていない

日本産業衛生学会勧告値 (94 年)：設定されていない

設備対策

1. 取扱場所の近くに、手洗い・洗眼設備を設置する。

保護具

1. 呼吸用保護具。
2. 保護手袋。
3. 保護衣。
4. 保護眼鏡。

9, 物理的及び化学的性質

外観等

1. 白色～灰褐色結晶。
2. 吸湿性が強い。

沸点：625℃ (分解)

融点：446℃

比重：4.74

溶解度

1. 水に易溶。
2. 水への溶解度：81.3% (20℃)。

10, 安定性及び反応性

可燃性：なし

発火性(自然発火性、水との反応性)：なし
酸化性：なし
自己反応性：酸化剤により分解してよう素を発生する。
粉塵爆発性：なし
安定性・反応性
1. 吸湿性が強く、湿った空気中ではよう素を遊離して黄色になる。
2. 酸化剤により分解してよう素を遊離する。

11, 有害性情報
皮膚腐食性：あり
刺激性(皮膚、眼)：接触による、皮膚、眼、粘膜への刺激性が強い。
感作性：データなし
急性毒性（50%致死量等を含む）：データなし
慢性毒性：データなし
がん原性：データなし
変異原性：データなし
生殖毒性：データなし
催奇形性：データなし

12, 環境影響情報
分解性・蓄積性・魚毒性：データなし
1. 水質汚濁防止法で環境保全物質に指定されている。

13, 廃棄上の注意
1. 水に溶解し、炭酸ナトリウム溶液を加え沈殿物を集め、処理業者に処理を依頼する。

14, 輸送上の注意
1. 運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行い、毒劇法などの法令に従う。

15, 適用法令
◇PRTR 法（種類―政令番号）：1-1
◇毒物及び劇物取締法：第 2 条別表第 2 劇物
◇水質汚濁防止法：環境保全物質

16, その他の情報
参考文献
①化学便覧　日本化学会編（丸善）
②THE MERCK INDEX 12th EDITION

コメント
記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。
全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途，用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。